

日本文学の伝統と現代社会分科会(第 26 期・第 6 回)

議事要旨

出席者:植木朝子、海野圭介、木村勝彦、佐藤利行、日向太郎、日比嘉高、原田範行、吉岡洋

欠席者:有元伸子、小黒康正

日時 令和 7 年 11 月 2 日(日) 17 時00分~19 時 00 分

場所 オンライン

記録 海野圭介

(1) 委員の発表

日比嘉高委員「いま何が可能になっているのか—AI、デジタル資料と近代日本文学研究」

(2) 意見交換

日比委員の発表をもとに、データ活用の在り方(利点と注意点)、データと AI のつなげ方、人間の作業と AI の作業、データベースの現状、若い学生たちへのデータ、AI 活用に関する注意などに関する意見交換を行った。

(3) その他

- ・植木委員から日本学術会議の今後についての議論の進行についての報告
- ・本分科会の公開シンポジウム「日本文学と藍」は、2026 年 2 月 1 日(日)13:00~17:00 に開催予定
- ・第7回は、2026 年2月1日公開シンポジウム後に開催予定
- ・第8回は2026年3月頃を目処に調整する予定